

関係者各位

平成27年7月15日

学校法人九州総合学院
九州医学技術専門学校
校長 今村 文章

「平成27年度 九州医学技術専門学校 学校関係者評価報告書」
の公表について

平成27年度の学校関係者評価結果をここに、公表いたします。

今後は、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。

今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月 15 日

九州医学技術専門学校
校長 今村 文章 殿

学校関係者評価委員会
委員長 管原 正志

学校関係者評価委員会報告

平成 27 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 学校関係者評価委員

委員名	所属先	役職名	備考
管原 正志	西九州大学 健康福祉学部	教授	本校非常勤講師
南 惣一郎	長崎大学病院 検査部	技師長	同窓会会長
小丸 検造	長崎原爆病院 医療技術部検査課	技師長	
今里 和義	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院 検査部	技師長	
鴛淵 久美子			卒業生保護者

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第 1 回委員会 平成 27 年 7 月 7 日 (火) 18 : 00 ~ (会場 かがりや 会議室)

3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

H26年度九州医学技術専門学校自己評価をもとに評価

《 学校教育基本方針 学校教育目標 重点努力目標 》

今後の課題(要望)

- ・社会人として通用する人格の形成
- ・専門分野の徹底教育

不明な点 その他

- ・重点努力目標③ 合格率 100%は無理なのか。
→H27年度の重点努力目標で、合格率 100%、就職率 100%を目標として掲げている。

《 1. 教育課程・学習指導 》

今後の課題(要望)

- ・臨床検査科:検査試料に対する危機意識が薄いように思われる。試料はバイオハザードであるという認識をしっかり持たせ、実習時は費用が許せば手袋の着用や手洗い後のペーパータオルの使用を徹底させるべきではないか。
- ・病院毎に望まれる臨床検査技師が異なっている。さらに調査が必要ではないか。
- ・学習すべき科目数が多く、学生自身が科目間の関連性をよく理解するための方法として、科目の系統図(カリキュラムツリー)を作成し配布してはどうだろうか。
- ・「アクティブラーニング」は、思考力やコミュニケーション力の向上のために導入されている。学校でも導入を検討されてはどうだろうか。
→アクティブラーニングに関しては、職員研修を行う予定。
- ・基礎知識の反復指導をしてほしい。
- ・就職先の病院等と連絡を取り••の評価が2の理由は？
→就職先すべてを訪問することができなかったため(約半数しか聞き取りができなかった)
→すべてを訪問するのは難しいから、アンケートを郵送してはどうか？

不明な点 その他

・就職後、半年～1年後の社会人1年生にアンケートを実施すると教育内容や指導の問題点が見えてくるかもしれない。
→各施設に、郵送にてアンケートを行う。

《 2.生活指導 》

今後の課題(要望)

・特になし。現在の指導を継続してほしい。

不明な点 その他

・本校の学生は礼儀正しく、素直で、印象派非常に良いと思う。服装が気になる学生もいるが、臨地実習できちんとできれば問題ないであろう。

《 3.進路 》

今後の課題(要望)

・採用試験において4年制大学生に基礎学力が劣るのは個人の能力であってどうしようもないことだろうか。
・履歴書の字がきれいに書けるように、ペン字指導も取り入れてほしい。
・職場で求められる代表的な認定資格の説明や現実的な話などを取得者に講義してもらうなどがある刺激になるのではないか。

不明な点 その他

・病院見学が未実施で前期評価1、年度末斜線だが、実施できなかった理由は？
→以前は1年次(6月頃)に実施をしていたが、1年生にとって難しすぎたので、2年次に実施をすることにした。各自で夏休みなどを利用して病院見学の連絡を取って行うようにと促したが、自主性がなくできていない状態。
他の学校(大学)は、積極的に各自で動いている。本校の学生にも動くように指導を。

《 4. 社会人基礎力 》

今後の課題(要望)

- ・ボランティア活動への参加は非常に良いことだと思う。心の成長が自覚できるのではないだろうか。継続を希望する。
- ・ボランティア活動は、地域の方々と触れ合うことも必要だが、医療施設等において一定期間(時期は要検討)必修とし、終了後は各自がパワーポイントによる体験発表会を実施してはどうか。ボランティア活動による人間関係や体験発表によるコミュニケーションの醸成に効果があると思う。
- ・人間関係や、パワハラなどに耐えられる強い「心」が現場では必要。各自のメンタルチェックができる教材などがあれば活用してほしい。
- ・老健施設、幼稚園、保育園等の施設訪問をするのはどうだろうか。コミュニケーションがずんなりとることができないことがわかる。考え方、接し方が変わる。是非、そういった機会を作してほしい。

不明な点 その他

・実習室の片付けのときは休日にも関わらず自主的に何人かの学生は手伝ってくれて非常に好印象を持った。

《 5. 広報 》

今後の課題(要望)

- ブログは更新も頻繁で卒業生やこれからの学生に九医技を知らせるという点では、非常に良い活動だと思う。是非、継続してほしい。
- 高校生や若者に臨床検査技師の認知度を高めるにはトレンディドラマを製作し医療界には必要で非常にやりがいのある職種であることをアピールするのが1番良いと思う。(これは、学校ではなく日本臨床衛生検査技師会が中心となって)
→ 臨床工学技士はテレビドラマ「医龍」で適用され有名になった気がする。九医技の広報としては現状で良いと思うが、テレビCMを見たある人から「やっぱり専門学校色が強いな～」と言われた。

《 6. 組織・運営 》

今後の課題(要望)

- 生理検査実習が指導できる常勤教務を育成してほしい(2名以上)
- 自己評価結果を卒業時に郵送することになっているが、現在できていない。
ホームページで閲覧可能なので、送付の必要はないのではないか。

《 7. 施設・設備 》

今後の課題(要望)

- 避難経路の確認とインターネットのアクセスは以前より評価3だが、改善策は講じられているのか。
- 施設、設備の近代化ができないか。
→ 現状の校舎では無理かもだが、エレベーターを増設してほしい。機材搬入や、車いす、ストレッチャーなどが使用できるように。

その他気づき

- 医療秘書科の学生と接する機会がなく、よくわからないが、一年間の教育で社会に出るのは少々無理がある学生もいると思う。卒後のフォローアップ体制が必要だと思う。
- 消極的あるいはメンタルが弱いと受け取られがちな学生が目立つ。謙虚であることは大事だが、もっと自信を持たせる指導をお願いする。
- 実践力向上のための教育訓練の指導をお願いしたい。
- 自己評価項目で、努力しても改善できないもの(業務上無理な評価項目)は、今後学内で検討して、達成可能な評価項目に変更する必要があるのではないか。平成 20 年より自己評価を始めてからずいぶん経つので、中身の検討もお願いする。